

研究所彙報

一 二〇二三年度研究所・所員リスト

教授 早矢仕 智子（日本語教育学）

教授 市野澤 潤平（文化人類学）

教授 今林 直樹（国際関係論）

准教授 川口 かしみ（憲法学）

准教授 栗原 健（宗教学・近世ドイツ史）

准教授 間瀬 幸江（フランス文学・演劇）

准教授 松本 周（悲嘆ケア、キリスト教社会倫理）

教授 宮原 育子（地理学・地域資源論・観光まちづくり）

教授 永田 貴聖（文化人類学・移民研究）

教授 清水 禎文（教育学）

准教授 杉井 信（社会人類学）

准教授 高橋 陽一（日本近世史・旅行史・歴史資料保全学）

教授 田中 一裕（生態学）

教授	天童 睦子（女性学・教育社会学）
教授	ティモシー・J・フェラン（異文化理解教育・異文化間コミュニケーション論）
教授	豊澤 弘伸（国語教育）
教授	八木 祐子（文化人類学・インド研究）
准教授	俞 轅 蘭（臨床心理学・家族心理学）
教授	吉村 典子（西洋美術・デザイン史）
客員研究員	阿部 隆（宮城学院女子大学名誉教授・人文地理学）
客員研究員	後藤（坂本）純子（元大阪市立大学文学部助教授・インド学・宗教学）
客員研究員	後藤 久太郎（宮城学院女子大学名誉教授・建築史）
客員研究員	平川 新（元宮城学院女子大学学長・日本近世史研究・歴史資料保存学）
客員研究員	井上 研一郎（宮城学院女子大学名誉教授・近世美術史）
客員研究員	犬飼 公之（宮城学院女子大学名誉教授・古代文学）
客員研究員	岩川 亮（元宮城学院女子大学准教授・フランス語学・文学）
客員研究員	J. F. モリス（宮城学院女子大学名誉教授・日本文化論）
客員研究員	片瀬 一男（東北学院大学教授・教育社会学・計量歴史社会学）
客員研究員	菊池 勇夫（宮城学院女子大学名誉教授・日本近世史）
客員研究員	木曾 恵子（東北学院大学および宮城学院女子大学非常勤講師・文化人類学・タイ地域研究・

ジェンダー研究

客員 研究員	九里順子	(宮城学院女子大学名誉教授・日本近代文学)
客員 研究員	丸山仁	(宮城学院中学校・高等学校教諭・日本中世史)
客員 研究員	森雅彦	(宮城学院女子大学名誉教授・西洋美術史)
客員 研究員	大迫章史	(東北学院大学教授・教育行政学)
客員 研究員	新免貢	(宮城学院女子大学名誉教授・宗教学)
客員 研究員	山極優子	(多賀城市教育委員会事務局埋蔵文化財調査センター・民俗学)
客員 研究員	安田容子	(東北大学災害科学国際研究所助教・生き物文化誌〈人と動物の関係史〉・日本近世美術史〈地方文人・画人研究〉)

二 共同研究について

本年度の共同研究は次のとおりである。

「南島における民族と宗教」

「多民族社会における宗教と文化」

共同研究の成果として、次の冊子が刊行された。

『沖縄研究ノート』No.33

『多民族社会における宗教と文化』No.27

三 二〇二三年度研究活動報告

公開シンポジウム「音楽とリベラルアーツがつむぐ地域革新」

二〇二三年一月四日（土）一二時三〇分開場 一三時～一五時四〇分（≪本学音楽館ハンセン記念ホール≫）

司会・企画 天 童 睦 子（本学一般教育部教授）
音楽科学生による演奏

基調講演 『辺境』から見る洋楽受容と近代東北の音楽家たち

北 原 かな子氏（青森中央学院大学教授・日本近代史比較文化論）

報告 音楽がつむぐ地域文化の革新―宮城学院同窓生のライフコース分析

相 澤 出氏（東北医科大学教養教育センター准教授）

本シンポジウムは、JSPS 科研費 21K02245（研究代表 片瀬一男・東北学院大学）の助成を受けたものです。

共催 女子ミッション教育史研究会

協力 本学学芸学部音楽科・音楽リエゾンセンター

公開映画上映会「ワタシタチハニンゲンダ！」（監督／高賛侑）・対談

二〇二三年一月一〇日（金）一六時二〇分～一九時（≪本学講義館二階C二〇一／ZOOM≫）

総合司会・企画 永 田 貴 聖（本学現代ビジネス学科教授）

「ワタシタチハニンゲンダ！」上映会

司会 松本 周（本学一般教育部准教授）

対談

監督 高 賛 侑（コウ・チャニユウ）氏
医師 尹 玲 花（インレイカ）氏

公開シンポジウム「声の気配（けはい）を聴く」

二〇二四年二月二十四日（土） 一三時三〇分～一六時四〇分（＝本学学生食堂ビエリス）

企画・司会 間 瀬 幸 江（本学一般教育部准教授）

開会のあいさつ

栗 原 健（本学一般教育部准教授）

第一部 語る視点から

【発表一】 他者に代わって語ることの倫理と論理——証言についての哲学的分析——

越 門 勝 彦（明治大学准教授）

【発表二】 パリの路上にいた女性たちの声——戯曲『シャイヨの狂女』の草稿分析

間 瀬 幸 江（本学一般教育部准教授）

【コメンテーター】 永 田 千 奈（フランス語翻訳者）

第二部 聴く視点から

【発表三】 フランス現代小説における戦争体験の語りと話者「私」の関係について

國 枝 孝 弘（慶応義塾大学総合政策学部教授）

【発表四】 遊びとして押し寄せる子どもたちの声と生活世界―災害後の遊びを支える他者の気配―

安 部 芳 絵（工学院大学教育推進機構教授）

【コメンテーター】 石 井 敏（東北工業大学建築学部建築学科教授・副学長兼建築学部長）

第三部 意見交換…聴くこととはなにか？

【話題提供一】 永 田 千 奈（フランス語翻訳者）

【話題提供二】 石 井 敏（東北工業大学建築学部建築学科教授・副学長兼建築学部長）

【話題提供三】 菊 池 勇 夫（本学名誉教授）

主催…声の主体による文化・社会構築研究会

共催…宮城学院女子大学附属キリスト教文化研究所

宮城学院女子大学附属人文社会科学研究所

本事業は、JSPS 科研費 20K00476（研究代表 間瀬幸江・宮城学院女子大学）の助成を受けたものです。

〈共同研究「多民族社会における宗教と文化」主催〉

第一回公開研究会

二〇二三年六月一日（土） 一三時開場 一三時三〇分～一五時三〇分（≪本学講義館二階C二〇二）

司会・企画 天 童 睦 子（本学一般教育部教授）

報告 SDGsと子どもの未来…女性・若者のアクションが世界を変えていく

—エコアナウンサーからのメッセージ

講師 櫻 田 彩 子氏（サステナビリティ日本フォーラム運営委員／事務局次長、

Think the Earth 理事）

第二回公開研究会

二〇二三年一〇月二十四日（火） 一六時二〇分～一七時五〇分（≪本学第二講義館二階K四〇三）

司会・企画 永 田 貴 聖（本学現代ビジネス学科教授）

報告 「家族の歴史を語る」を語る

金 村 詩 恩氏（著述家）

第三回公開研究会「コロナ禍の東南アジア」

二〇二三年一月一日（土） 一三時三〇分～一七時（≪本学人文館五階A五四九）

司会・企画 八 木 祐 子（本学人間文化学科教授）

報告Ⅰ 国家統制のなかでのケアのつながり…コロナ禍のベトナム

伊藤 まり子氏（京都外語大学国際言語平和研究所・客員研究員）

報告Ⅱ つながりの分断と共助への試みーコロナ禍のタイ

木曾 恵 子氏（日本学術振興会特別研究員（RPD）／宮城学院女子大学）

第四回公開研究会「グリーンケア研究会」

二〇二三年十一月二十四日（金）一六時二〇分～一七時三〇分（≪本学講義館二階C二〇三）

司会・企画 松本 周（本学一般教育部准教授）

報告 愛する人の死と新島八重ーキリストの心を心とせよー

山下 智 子氏（同志社女子大学教授）

二〇二三年度 第三回キリスト教講座

二〇二三年六月一六日（金）十六時三〇分～一七時三〇分（≪本学礼拝堂二階 ヴェリタス）

三浦綾子における死と生

松本 周（本学一般教育部准教授）

主催…宮城学院キリスト教センター

共催…宮城学院女子大学附属キリスト教文化研究所多民族グループ

四 所員消息（二〇二三年四月―二〇二四年三月）

早矢仕 智 子 教授

論文 「地域日本語教室に参加する市民と大学教員間の関係構築に関する一考察―インタビューにおける相互行為の分析から―」澤邊裕子・早矢仕智子・中川祐治（『人文社会科学論叢』第三三号、本学人文社会科学研究所、二〇二四年三月三十一日、四九―六四頁）

学会発表 「大学の日本語教師養成課程における地域と連携した授業のデザインと課題―日本語教師養成課程担当教員へのインタビューから―」澤邊裕子・中川祐治・早矢仕智子・杉本香・西村美保（日本語教育方法研究会 第六一回研究会、二〇二三年九月九日、オンライン）

学会発表 「なぜ地域と連携した日本語教育実習を行うのか―大学の日本語教師養成課程担当教員の語りに現れたビリーフ―」早矢仕智子・澤邊裕子・中川祐治・西村美保・杉本香（日本語教育学会 二〇二三年度日本語教育学会秋季大会、二〇二三年十一月二十五日―二十六日、山形テレサ）

学会討論 「日本語の「察し」に対して韓国入日本語学習者が抱く印象―勧誘に対する断り場面から―」松樹亮子・

渋谷雅円（韓国日本語學會 第四七回國際學術大會、二〇二三年三月二五日、徳成女子大學校・オンライン）

その他 「日本語教育を学ぶ学生と教師のための市民性×日本語教育ワークショップ」（主催、科研費基盤研究

（B）課題番号22H00671 市民性教育カリキュラム開発チーム、二〇二三年八月二十日―二十一日、みや

ぎ東日本大震災津波伝承館、仙台多文化共生センター研修室、エスポールみやぎ研修室等）

栗原 健 准教授

論文 「真玉橋に埋め込まれた祈り―沖繩の人柱伝説が意味するもの」(『沖繩研究ノート』宮城学院女子大学キ

リスト教文化研究所、第三二号、二〇二三年三月三十一日、一頁―一四頁)

小論 「宮城学院の植物たち その4―ツリバナ―」木村春美・栗原健(『宮城学院資料室年報 信望愛』第二九号、学校法人宮城学院、二〇二四年三月三十一日、七三―七六頁)

新刊紹介 Jessica BARKER, *Stone Fidelity: Marriage and Emotion in Medieval Tomb Sculpture* (『西洋中世研究』第一五号、二〇二三年二月、一六六―一六七頁)

座談会 若手研究者イニシアティブ企画「コロナ禍で立ち現れてきたもの―身体と祝祭」(日本基督教会会第七一回学術大会、上智大学、二〇二三年九月六日)

本学キリスト教講座 「ヨーロッパ最初の女性作曲家? カッシアの聖歌を聴く」(二〇二三年五月二六日、ヴェリタス)

本学キリスト教講座 「『我等は飛び魚だ!』 一九三〇年代の生徒によるエッセイ」(二〇二三年十一月二八日、ヴェリタス)

間瀬 幸江 准教授

調査報告 「フランス人の読書文化と余暇…読書習慣に関する調査から」(カレントアウェアネス―E No. 465,

E2631) (二〇二三年十月五日) URL: <https://current.ndl.go.jp/e2631>

番組制作「声のつながり大学」(仙台コミュニティFMラジオ3)ディレクター

論文 « Folles et petites gens à la création de *La Folle de Chaillot*. La question des voix », in *Cahiers Jean*

Giraudoux No.51 (Le Paris de Jean Giraudoux), 2023, pp. 315-330.

新聞記事 「仏の日本食文化 コロナ下 惣菜店に脚光」『河北新報』(二〇二三年七月二五日)

新聞記事 「仏の独立系書店 顧客と本 出会いつなぐ」『河北新報』(二〇二三年八月二六日)

新聞記事 「フランス人と信仰 日本の先祖崇拜 異質視」『河北新報』(二〇二三年九月二六日)

新聞記事 「コロナ下の仏TV 多彩な内容 孤独感払拭」『河北新報』(二〇二三年十月二八日)

新聞記事 「対話型美術鑑賞 他者の声 尊重し合う場」『河北新報』(二〇二三年十一月二五日)

新聞記事 「Xマスと仏の家族 コロナ下 多様な絆不変」『河北新報』(二〇二三年十二月二六日)

学会発表 「『ルクレチアのために』『シャイヨの狂女』の今日的意義―暗闇のなかの手つかずの可能性―」シン

ポジウム「レトリックとテロル:ジロドゥ／サルトル／ブランシヨ」(主催:日本フランス語フランス文学会、

共催:日仏会館、二〇二三年十月一四日、一五五)

シンポジウム主催 「声の気配(けはい)を聴く」コーディネーター (主催:声の主体による文化・社会構築研

究会、共催:宮城学院女子大学キリスト教文化研究所、同人文社会学研究所) (二〇二四年二月二四日)

学会発表 「バリの路上にいた女性たちの声―戯曲『シャイヨの狂女』の草稿分析―」(二〇二四年二月二四日)

研究ノート 「対話と予定調和を分岐するもの―『Android Opera Mirror』鑑賞者の視点から」(多民族社会に

おける宗教と文化 第二七号、宮城学院女子大学キリスト教文化研究所、二〇二四年三月三一日)

松 本 周 准教授

論文 「苦難の問題とグリーンフェア」(『研究論文集』第一三六号、宮城学院女子大学、二〇二三年六月三〇日、
一一一九頁)

論考 「三浦綾子の死生観とキリスト教信仰」(『宮城学院資料室年報 信望愛』第二九号、学校法人宮城学院、
二〇二四年三月三十一日、三一—四〇頁)

学会発表 「東日本大震災はいかに語られたか 学校礼拝説教の調査分析」(日本キリスト教教育学会 第三五回
学会大会研究発表、二〇二三年六月一〇日、会場…和泉短期大学)

キリスト教講座 「三浦綾子における死と生」(宮城学院キリスト教センター主催、宮城学院女子大学附属キリス
ト教文化研究所共催、二〇二三年六月一六日)

永 田 貴 聖 教授

受賞 第一回日本移民学会奨励賞受賞 二〇二三年六月二十四日 土曜日 神田外語大学(受賞論文「2つのト
ランスナショナル・フィリピン人移民研究からの視点」日本移民学会誌『移民研究年報』二六号(二〇二〇
年六月)

講演 日本移民学会奨励賞受賞者特別講演「複数のものと出会ったときの移民研究の在り方について」第八回日
本移民学会冬季大会 ※オンライン開催 二〇二三年一二月九日

新聞記事 「まにら新聞 座標軸 第二八回フィリピン研究会全国フォーラム 東北で深まった知の交流」日刊

まにら新聞 二〇二三年一〇月一四日 土曜日 三面

高橋陽一 准教授

論文 「一八世紀前半の領民・領主関係―仙台藩の贈答をめぐる社会状況―」(『歴史』一四一、二〇二三年一〇月、五四―八二頁)

学会発表 「18世紀の領民・領主関係―仙台藩領の贈答をめぐる社会状況―」(歴史学研究会日本近世史部会大会
支援報告、二〇二三年三月)

講演 「江戸時代の秋保温泉―佐藤勘三郎家文書から―」(G7仙台科学技術担当大臣会合機運醸成セミナー、秋
保・里センター、二〇二三年四月)

講演 「江戸時代の旅と金華山参詣」(日本遺産認定五周年記念「みちのくGOLD 浪漫」シンポジウム二〇二四
―江戸時代の石巻の旅と道―、マルホンまきあーとテラス、二〇二四年二月)

受賞 「インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞」(公益財団法人インテリジェント・コスモス学術振興財団、
二〇二三年五月)

田中一裕 教授

論文 「若年女性における Phase angle と体力の関係」(生活環境科学研究所研究報告、宮城学院女子大学、
二〇二三年三月)

学会報告 「温暖化が津軽のマダラスズの生活史を変えた」(日本応用動物昆虫学会第六七回大会、摂南大学校方
キャンパス、二〇二三年三月一四日)

学会報告 「マダラスズ二化個体群における雌性先熟・雄性先熟の光周期コントロール」(東北昆虫学会第四回大
会、リゾートインみちのく、二〇二三年九月二日)

学会報告 「マダラスズ二化個体群における雌性先熟・雄性先熟の光周期コントロール」(日本昆虫学会第八三回
大会、佐賀大学、二〇二三年九月一六日)

講演 「家の周りを観察しよう」(宮城いきいき学園石巻校・宮城県社会福祉協議会) 東松島市矢本東市民センター
(二〇二三年一〇月四日)

その他 「釣舟富紀子展「ROADSTEAD」 関連企画「ネオ塩竈まち歩き」ナビゲーター、塩竈市杉村惇美術館
(二〇二三年八月一二日)

天 童 睦 子 教授

著書 天童睦子『ゼロからはじめる女性学—ジェンダーで読むライフワーク論』世界思想社、二〇二二
事典「家族と教育」、日本家族社会学会編『家族社会学事典』、丸善出版、二〇二二、四七六—四七七頁

国際学会報告 Atsuko Shimbo and Mutsuko Tendo, "Human Capital Discourse and Cultural Resources: A

Case Study of Family Education in Japan", the XX ISA World Congress of Sociology, RC04, 28 June
2023, Melbourne, Australia

学会報告「災害女性学とエンパワーメント・モデルの構築―宮城の事例にみるジェンダー・復興・地域課題」

国際ジェンダー学会二〇二三年大会、於十文字学園女子大学、二〇二三年九月三日

学会報告「キリスト教主義女子教育の変遷に見る知識・世俗化・エンパワーメント」日本教育社会学会第六五回年次研究大会テーマ部会（日本の近代化と女子キリスト教主義教育）、於弘前大学、二〇二三年九月九日
講演「災害女性学という構想―想像力から「自分事」として災害を捉えなおす」港区立男女平等参画センター・リーブラ、二〇二三年九月一日（オンラインによる講演）

その他「会員文献紹介」天童睦子著『ゼロからはじめる女性学―ジェンダーで読むライフワーク論』国際ジェンダー学会誌Vol.21 1111頁、二〇二三年十二月

その他「草の根女性のリーダーシップが世界と地域をつなぐ―地域女性のエンパワーメントとジェンダー平等―」W20活動レポート第九回 SPFCIP、二〇二三年十二月四日

八 木 祐 子 教授

科学研究費報告書『北インド、ボージプリー文化圏の民謡に関するジェンダー分析』（平成二九年度～令和四年度 科学研究費補助金「基盤研究C」 課題番号 17K2032 研究成果報告書）

研究ノート「ボージプリー文化圏の婚姻儀礼と民俗歌謡（その5）」『多民族社会における宗教と文化』NO.27 五～一六頁、宮城学院女子大学付属キリスト教文化研究所（二〇二四年三月発行予定）

研究発表「北インド、UP州東部の社会変化―ある家族の住まいを中心として」『南アジア一九九〇年代の社会

変化を考える』、主催…科研（B）「『不確実性の時代』の南アジアの社会変動―若者の社会対応を通じて」
京都大学東京オフィス、二〇二三年七月八日

模擬授業 「変わるインド社会と女性」『宮城県高大連携事業』（宮城学院女子大学、C三〇一、二〇二三年八月
一七日）

出前講座 「インド・カレーの謎―インドの食文化」『羽黒高等学校特別講座』（山形県鶴岡市羽黒高等学校、
二〇二三年八月一八日）

海外調査 北インド、ウツタル・プラデーシュ州アザムガル地区 二〇二三年八月二一日～二〇二三年九月六日
「北インド、ボージプリー文化圏における家族と女性―儀礼と民俗歌謡を中心として―」に関する海外調査（宮
城学院女子大学研究助成費、「住まいの記憶」科学研究費）

海外調査 北インド、ウツタル・プラデーシュ州アザムガル地区 二〇二四年三月一日～一五日「北インド、ボー
ジプリー文化圏における住まいの記憶と女性」に関する海外調査（「住まいの記憶」科学研究費）